

瀬良英介の

飼料・畜産トピックス（269）

2011年12月

（269）スーパー養鶏場を他山の石とせよ

11月に全米5位でアイオワ州ヴィンセント、ハンボルトなどミネソタ州やコロラド州の3州にまたがって年間3億ダースからの鶏卵を生産するスーパー養鶏場の管理状況が「動物に憐みを」という動物愛護のNPO団体が養鶏場の職員に内部撮影を極秘に依頼したフィルムを視聴率の高いABCテレビの「お早うアメリカ」ニュース番組に予告なしにリリースしたことは全米のスーパーや消費者に衝撃を与えました。

ミシシッピ河の西側のマクドナルド・チェーン全てに卵を供給していましたが、マクドナルドは即刻スーパーからの卵の納入を停止し、同様にターゲットのチェーンやウォールマート・スーパー・チェーンも停止しました。ミネソタ州のツイン・シティで大手のスーパーであるランズ・アンド・バイヤリースも同様の処置を取りましたが、スーパーに対しての風当たりは増すばかりです。

確かにFDAは過去からスーパーに対して13種類以上の連邦政府鶏卵生産ルールに違反しているとして警告を発していました。それはサルモネラ汚染を防ぐことに関する諸々の注意事項でした。ABCテレビのニュースにリリースされた内部告発フィルムの内容が全て全農場について云えるかどうかは別として、ニュースには狭いケージの中で詰め込まれて飼われている産卵鶏のかなり酷い状況が撮影されていたことは事実です。氣息えんえんとして死にかかっている産卵鶏の隣りで羽が抜け落ちている産卵鶏がエサを啄みながら卵も生産している映像は視聴者には衝撃でした。

オーナー社長のベス・スーパー・シュネル女史は鶏卵出荷を即刻停止しなくてはならなくなったことやニュースの内容に関して誰が撮影したか内部調査をしている、としながらも農場での管理は良好な状態で行っていると弁明しています。然し、リリースされた映像の前には虚しく聞こえることも事実です。業界の厳しい反応が続けば倒産か身売りは避けられないであろうと云われています。

私は日本の養鶏場の内部が撮影されてもこういう内容のリリースがNHKや民放に出ることはないと思っています。言い換えれば、日本での職員の養鶏場管理はもったきちんとしていると思える部分が多いからです。然し、生産が落ちてきた鶏をケージから引き出して間引く作業な

どは、撮影角度と意図によってはかなり消費者に衝撃を与える内容になり得ます。また、コスト競争が益々厳しくなっている現状を考えると管理の手抜きを行いたくなる強い誘惑にかられることも事実でありましょう。

従って、「他山の石以て玉を磨くべし」と忠告したいのです。これは他人の失敗を見て自身の戒めとする、ということです。残全ながら、この諺は最近、誤用が目立ちます。誤用とは、人の行動を模範にしたいと云う時に「他山の石とする」と云う人が増えています。これは明らかな間違いであることも指摘しておきます（瀬良、2011）。